

令和2年産(元年播)麦生育情報 No.6 (R2.5.14)

(本年産麦の情報は今回が最終です。)

(情報作成) 滋賀県農業技術振興センター

滋賀県近江八幡市安土町大中 516 (TEL:0748-46-4391)

1 気象経過と生育状況

① 気象の経過 (彦根气象台、平成 22～31 年の平均値との比較)

要素		平均気温	日照時間	降水量
期間				
4 月	上旬	やや低い	かなり多い	やや少ない
	中旬	やや低い	やや少ない	かなり多い
	下旬	かなり低い	かなり多い	かなり少ない
5 月	上旬	高い	少ない	平年並

注) 平均気温 <±0.5℃:平年並、±0.5～1.0℃:やや高い(低い)、±1.0～2.0℃:高い(低い)、±2.0℃<:かなり高い(低い)
 日照時間 <±5hr:平年並、±5～10hr:やや多い(少ない)、±10～15hr:多い(少ない)、±15hr<:かなり多い(少ない)
 降水量 <±10 mm:平年並、±10～20 mm:やや多い(少ない)、±20～30 mm:多い(少ない)、±30 mm<:かなり多い(少ない)

② 生育状況

農業技術振興センター麦類作況調査では、11月5日播の「農林61号」、「ふくさやか」の出穂は平年より10～15日、開花は6～7日早かった(表2)。また、草丈は平年より長く、茎数は少ない(4月15日時点:表1および後掲グラフ)。11月20日播の「農林61号」、「ふくさやか」でも、草丈、茎数は同様の傾向を示している(後掲グラフ)。

表1 令和2年産(元年播)麦類作況調査の結果

農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

品種名	産年	3/31 調査			4/15 調査		
		茎数 (本/m ²)	草丈 (cm)	葉齢	茎数 (本/m ²)	草丈 (cm)	葉齢
農林61号	R2年産	524	71.0	9.2	488	87.8	9.2
	平年値	671	47.4	8.5	653	67.9	9.3
ふくさやか	R2年産	412	77.8	9.2	420	84.3	9.2
	平年値	633	48.5	8.7	599	67.0	9.2
(参考) びわほなみ	R2年産	572	75.0	9.3	564	81.4	9.3
	平年値	858	54.2	8.7	780	67.6	9.2

※播種日:令和元年11月5日。

※平年値:「農林61号」「ふくさやか」はH24～R元年産(H23～30年播)の8年間の平均値。

※「びわほなみ」は3か年分(H28,H30,R1)のデータしかないので参考とした。

※播種量は8kg/10a条播(条間25cm)。

表2 麦類作況調査における出穂期・開花期・成熟期

農業技術振興センター（近江八幡市安土町大中）

基準 播種日	農林61号			ふくさやか			(参考)びわほなみ			サチホゴールド			ファイバースノウ											
	11/5	11/20		11/5	11/20		11/5	11/20		11/5	11/5		11/5											
産年	R2	平年	較差	R2	平年	較差	R2	平年	較差	R2	平年	較差	R2	平年	較差	R2	平年	較差	R2	平年	較差			
出穂期	4/7	4/17	10日早	4/18	4/24	6日早	3/30	4/14	15日早	4/13	4/22	9日早	3/29	4/10	12日早	4/12	4/17	5日早	3/17	3/30	13日早	4/9	4/16	7日早
開花期	4/21	4/27	6日早	4/30	5/1	1日早	4/18	4/25	7日早	4/26	4/29	3日早	4/17	4/21	4日早	4/25	4/25	同	-	-	-	4/20	4/22	2日早
成熟期	未	6/4		未	6/7		未	6/1		未	6/4		未	5/30		未	6/3		未	5/19		未	5/26	

※平年は、「農林61号」「ふくさやか」「ファイバースノウ」は8年間(2012～2019年産)、「サチホゴールド」は7年間(2012～2016、2018～2019年産)、「びわほなみ」は4年間(2016～2019年産)の平均値。

☆ 5月12日現在の小麦の生育状況(農技センター作況調査)



「農林61号」



「ふくさやか」



「びわほなみ」

表3 登熟期の有効積算気温による小麦の成熟期予測

品種名	1) 播種 基準日	1) 出穂期	成熟期予測日 2)			平年の 成熟期	昨年の 成熟期
			5/14以降の日平均気温 3)				
			平年並の場合	平年+1℃の場合	平年-1℃の場合		
農林61号	11/5	4/7	6/8	6/6	6/10	6/4	6/4
	11/20	4/18	6/9	6/6	6/11	6/7	6/7
ふくさやか	11/5	3/30	6/5	6/3	6/7	6/1	6/2
	11/20	4/13	6/5	6/3	6/8	6/4	6/5

※1) 播種基準日および出穂期は農業技術振興センター麦類作況調査データ。

2) 出穂期の翌日からの有効積算気温(10℃以上)が、「農林61号」は390℃、「ふくさやか」は360℃に最も近くなる日を予測日としている(5/13までの日平均気温は彦根気象台観測データ)。

3) 5/14以降の日平均気温はH22年～H31年の10年間の平均値を平年とする。

平年+1℃、-1℃は、5/14以降の日平均気温が毎日、平年値より+1℃、-1℃になったとして計算。

2 県内の状況

- 出穂期は平年より早まったが、4月の気温が低かったことから開花までの日数は平年より長くなっている。
- 5月に入ってから気温は高いが、日照時間が少なく、登熟はゆっくり進んでいる。

3 今後の管理

(1) 適期収穫

- 出穂期までは早まっていた生育が、4月の低温でやや停滞している。しかし、気象情報では向こう一か月の平均気温は高温に経過すると予想されていることから、登熟の進みや子実水分に注意し、収穫作業が遅れないよう、準備を整えておく。
- 麦類の成熟期は、外観上、黄緑色が消失して褐色になり、子実が糊状の硬さに達した時で、**収穫適期は、小麦では成熟期から2～4日後、大麦では1～3日後頃**になる。
- 収穫は子実水分30%以下**になる頃に行う。水分が高くと、穀粒の損傷や品質の低下が著しく、乾燥調製施設の処理能力の低下につながり、コストも高くなる。一方、刈り遅れて、降雨にあうと、容積重が低下し、倒伏や穂発芽などの品質低下を起す危険が高まるので注意する。なお、**ビール麦や種子麦は発芽勢を確保するため子実水分25%以下で収穫**する。
- 梅雨の合間を縫っての収穫作業になる場合は、立毛の状態でもまめに子実水分を測定するなど、ほ場の観察を十分に行い、ほ場ごとの作業計画を綿密にたて、刈り遅れないよう注意する。

(2) 排水対策

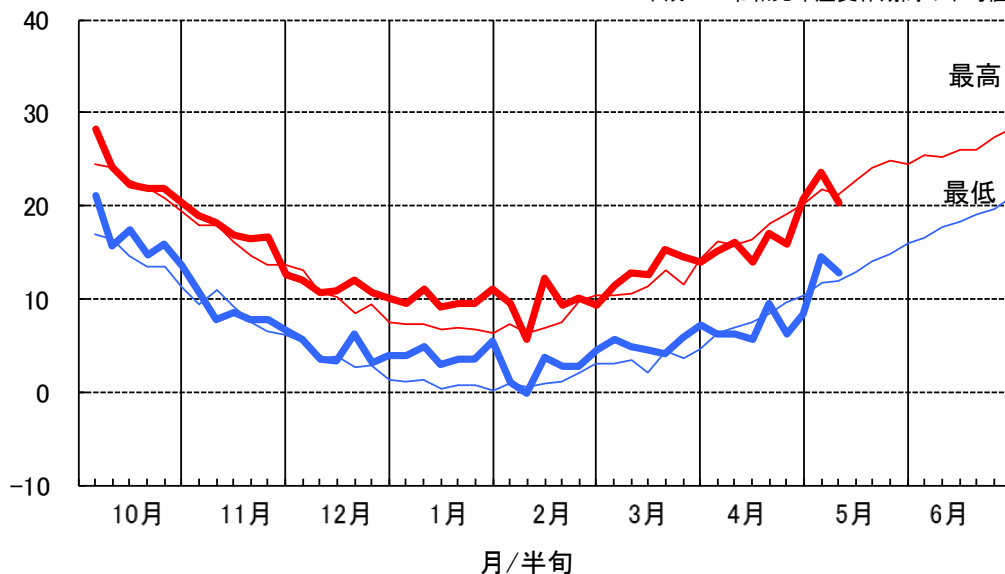
- 登熟期の湿害は減収するだけでなく、加工適性を含め品質を大きく低下させるので、排水溝を今一度点検し、速やかに排水するよう、**溝さらえ等を徹底**して行う。

【参考サイト】

農業技術振興センター	http://www.pref.shiga.lg.jp/g/nougicenter/
病虫害防除所	http://www.pref.shiga.lg.jp/g/boujyo/
彦根地方気象台	http://www.jma-net.go.jp/hikone/
早期天候情報	http://www.jma.go.jp/jp/soukei/

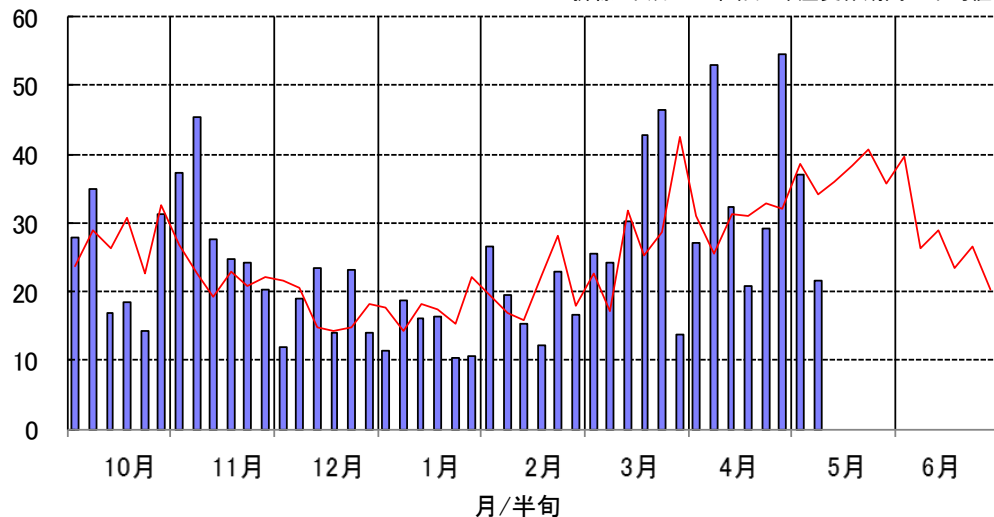
令和2年産(令和元年播) 麦作期間半旬別気象図(彦根気象台観測)

(°C) 【気温の推移(最高気温、最低気温)】 本年(令和2年産) 平成22~令和元年産麦作期間の平均値



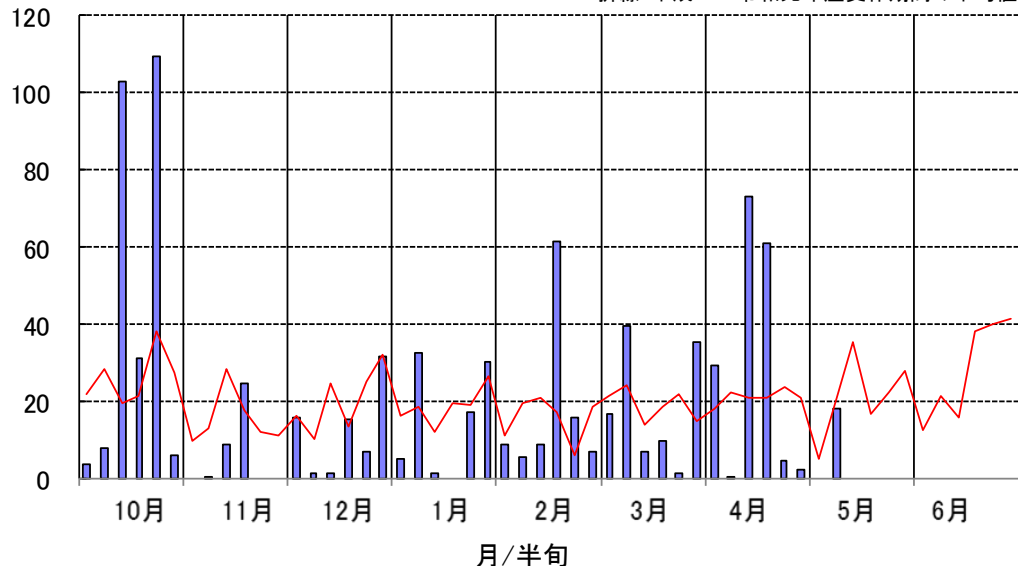
(hr) 【日照時間の推移】

棒線: 本年(令和2年産)
折線: 平成22~令和元年産麦作期間の平均値



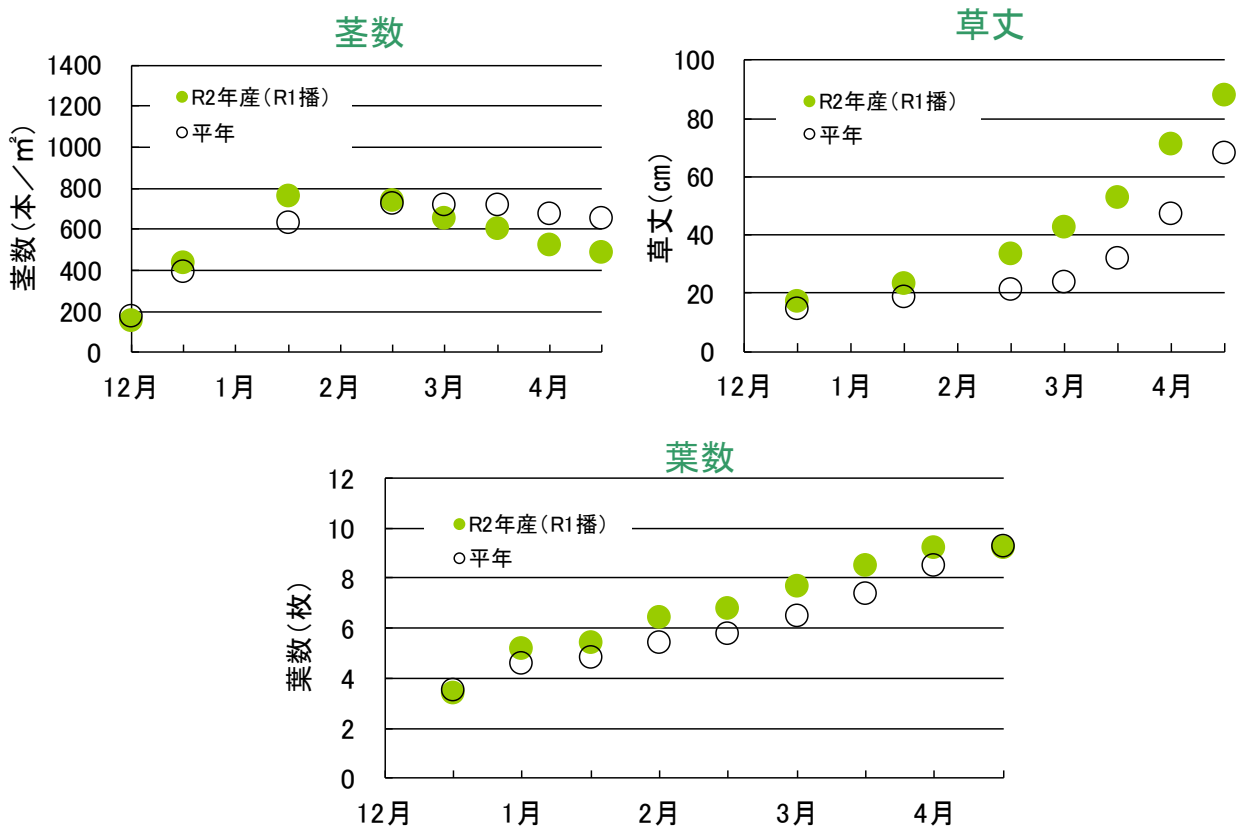
(mm) 【降水量の推移】

棒線: 本年(令和2年産)
折線: 平成22~令和元年産麦作期間の平均値



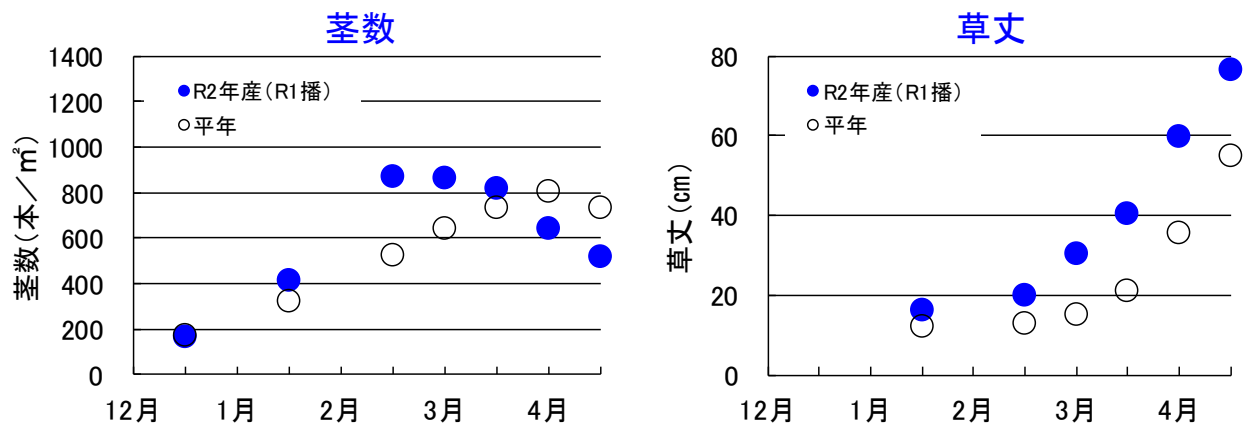
「農林61号」

令和元年11月5日播



(参考)

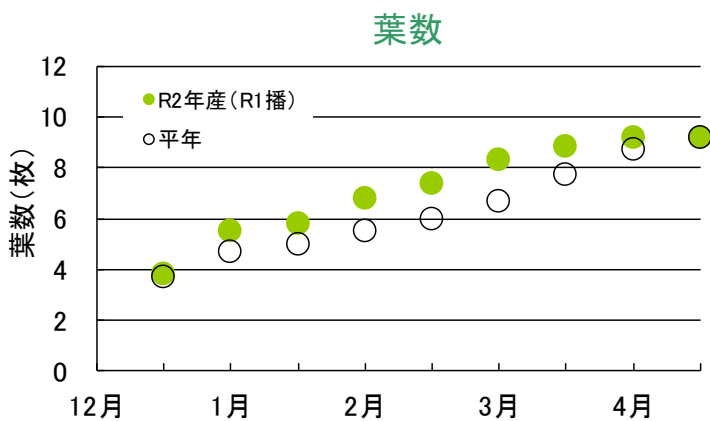
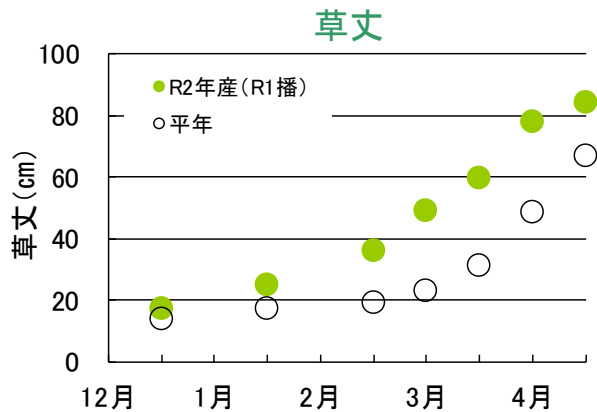
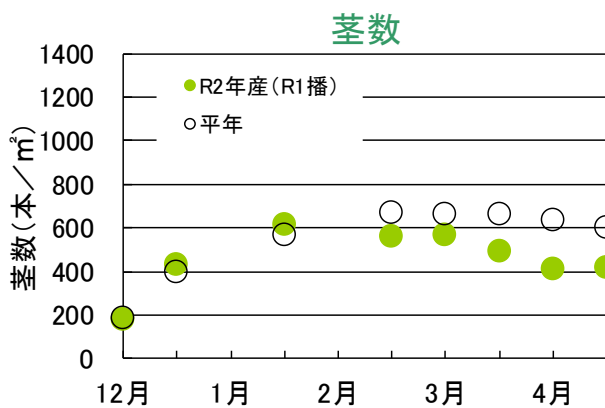
令和元年11月21日播



※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成24～令和元年産(平成23～30年播)の8年間の平均値。

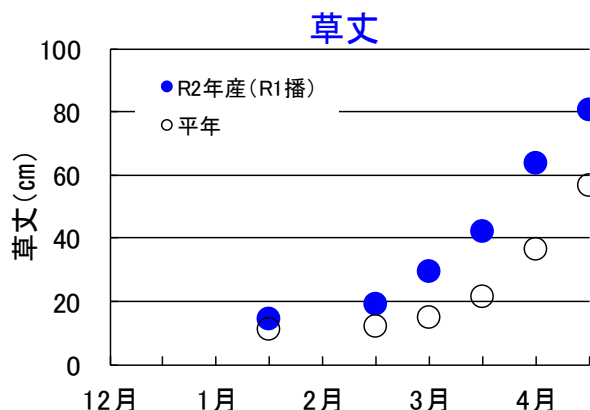
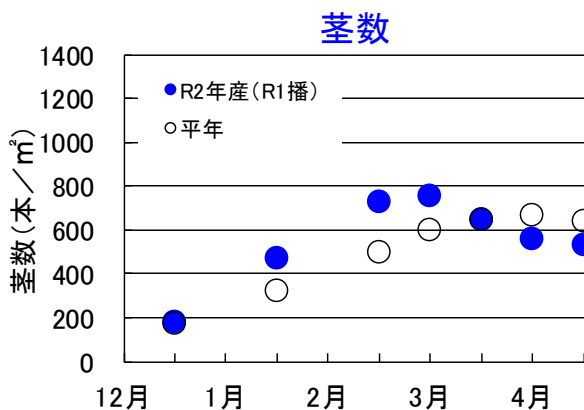
「ふくさやか」

令和元年11月5日播



(参考)

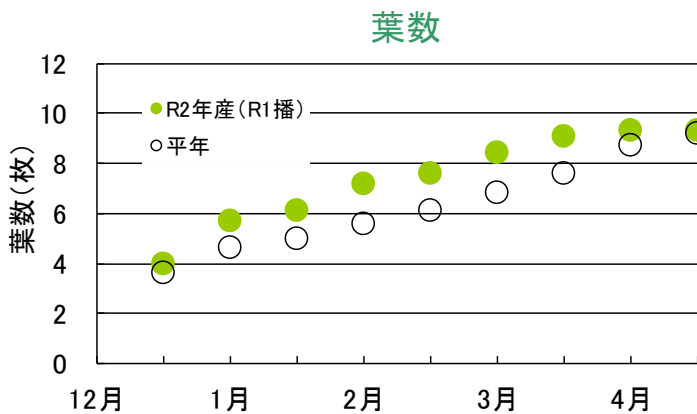
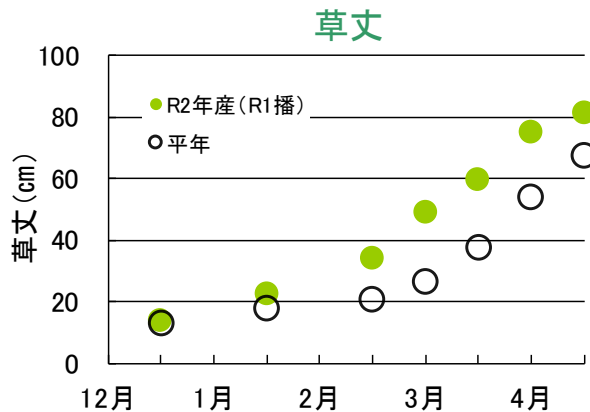
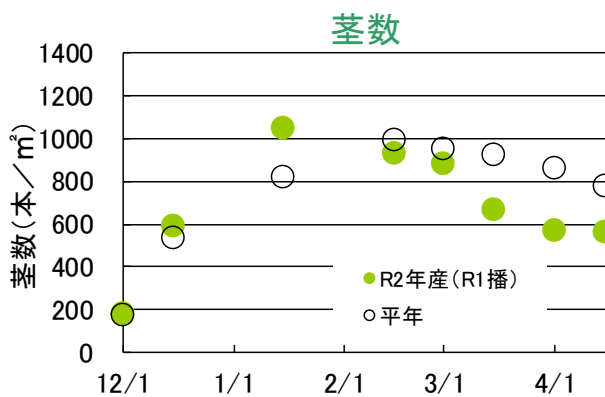
令和元年11月21日播



※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成24～令和元年産(平成23～30年播)の8年間の平均値。

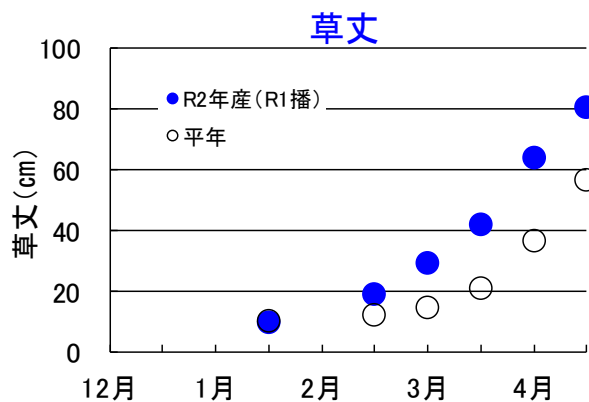
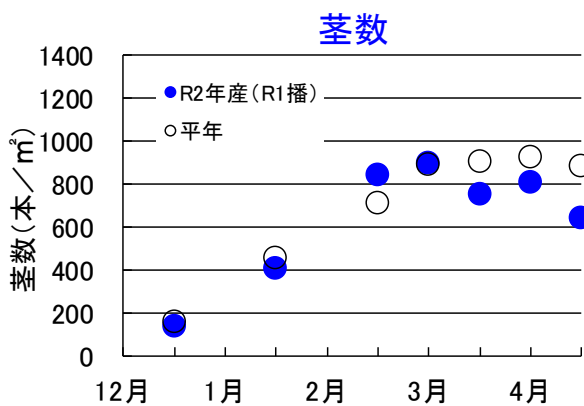
「びわほなみ」

令和元年11月5日播



(参考)

令和元年11月21日播



※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成28,30,令和元年産(平成27,29,30年播)の3年間の平均値。